

令和7年度 指定管理者評価シート(令和6年度実績)

施設名	阪南市社会体育施設 (総合体育館、中央運動広場、桑畑総合グラウンド・テニスコート、市立テニスコート)
指定管理者名	阪南みらい共創パートナーズ 代表団体:美津濃株式会社 構成団体:ミズノスポーツサービス株式会社、株式会社サクセス、阪南市スポーツ協会
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日(5 年間)
施設所管課	阪南市役所 生涯学習部 生涯学習推進室

1. 評価の実施方法

下記の評価項目における評価指標ごとに、指定管理者による「1次評価」及び施設所管課による「2次評価」を実施し、その2つの結果をもとに指定管理者選定委員会(以下「選定委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

2. 評価基準

1次評価及び2次評価では、指標ごとに4段階(a～dでaが最良)の評価を行い、業務仕様書や自らの提案(事業計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。選定委員会評価では、1次・2次評価を基に、評価項目ごとに4段階(1～4点)で評価を行う。

3. 指標ごと及び評価項目ごとの評価

指標ごと及び評価項目ごとの評価は、以下の基準を用いて行う。

<1次・2次評価、選定委員会による評価の評価基準>

評価記号	評価点数	評価基準
1次・2次	選定委員会	
a	4	協定書の遵守に加え、業務仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。(優れている)
b	3	協定書を遵守し、業務仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。(適正に管理されている)
c	2	協定書、業務仕様書、事業計画書に記載の一部の内容が実施されなかった。(一部に改善を要する)
d	1	協定書、業務仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。(多くに改善を要する)

<総合評価の基準>

評価	評価の定義	評価基準
A	優れている	各施設の最高得点に対する選定委員会評価での獲得点数が80%以上
B	適正に管理されている	各施設の最高得点に対する選定委員会評価での獲得点数が60%以上80%未満
C	一部に改善を要する	各施設の最高得点に対する選定委員会評価での獲得点数が40%以上60%未満
D	多くに改善を要する	各施設の最高得点に対する選定委員会評価での獲得点数が40%未満

4. 評価チェック表

評価項目				1次評価	2次評価	選定委員会 評価
(1)業務の履行状況の確認						
①	事業、業務 の履行状況	ア	開館日、休館日	b	b	3
		イ	使用許可状況	b	b	3
		ウ	使用料徴収状況	b	b	3
		エ	使用料減額・免除状況	b	b	3
		オ	施設の利用状況(利用者数、施設の稼働状況等)	b	b	3
		カ	実施体制(職員配置、危機管理マニュアル、消防計画書、保険加入確認)	b	b	3
		キ	個人情報保護及び情報公開の対応状況	b	b	3
		ク	苦情対応状況(苦情件数、処理内容)	b	b	3

評価項目				1次評価	2次評価	選定委員会 評価
(1)業務の履行状況の確認						
②	管理運営に おける基本 事項	ア	業務執行体制の評価	b	b	3
		イ	書類等の整備、保管状況の評価	b	b	3
		ウ	市担当との間での連絡調整状況の評価	b	a	3
③	施設の維持 管理状況	ア	保守管理業務の実施	b	b	3
		イ	清掃業務の実施	b	b	3
		ウ	環境衛生業務の実施	b	b	3
		エ	警備、安全業務の実施	b	b	3
		オ	外構、植栽管理業務の実施	b	c	2
		カ	備品管理の実施	b	b	3
④	法令、条例等に基づき、適切な管理を行っていることの説明(法令に基づく届出、報告書の提出を含む。)			b	b	3
(2)サービスの質に関する確認				1次評価	2次評価	選定委員会 評価
①	基本的事項	ア	職員の接客態度	b	b	3
		イ	広報の実施状況	b	b	3
②	運営業務	ア	予約、使用許可	b	b	3
		イ	利用者満足度	b	b	3
		ウ	自主事業等	c	c	2
		エ	施設の基本方針に沿ったサービス提供	b	b	3
(3)サービス提供の安定性に関する確認				1次評価	2次評価	選定委員会 評価
①	指定管理施設の収入(使用料、事業収入、指定管理料、その他の収入等)			b	b	3
②	指定管理施設の支出(人件費、修繕費、委託料、備品購入費、その他の経費等)			c	c	2
③	自主事業等に係る収支(事業に係る収支実績等)			c	c	2
④	指定管理者の経営状況説明書類(事業報告書、収支決算書及び貸借対照表等)			b	b	3

5. 評価者コメント

指定管理者	令和 6 年度は指定管理者として 4 期目の指定を受けたスタートの年でした。昨年度までの経験を踏まえ、利用者の皆様にとっての安心・安全な施設の運営管理の継続実施と、利用者数の増加を目指し業務遂行に努めました。
施設所管課	仕様書及び事業計画書に基づき、施設の運営が概ね適正に行われている。収支については、物価高騰等による支出の増加で赤字になっているが、利用収入は昨年度と比較して増額している。今後も市民の生涯スポーツの場として、質の高いサービスの提供と効率的な管理運営の実施をお願いします。

6. 指定管理者選定委員会による総合評価

総合評価	委員会評価 合計点数	委員会講評
B	80 ／112点 (71%)	仕様書及び事業計画に沿った施設の管理運営については、概ね適正に履行されていると評価する一方、物価高騰等の影響を受け、赤字収支となっていることは大きな課題である。この課題を解消すべく、指定管理者が利用料金収入の増加や支出の抑制に向け、取り組んでいることは評価できるものの、自己負担を負ってまで運営を維持する状況は健全とはいえず、自主事業の見直しや行政との適切な協議等の対応が必要であると考えます。また、地元住民のニーズ把握をはじめ、地元企業・学校・各種団体との連携を強化し、事業拡大による収支改善と地域活性化を図られたい。 今後は、構成団体との意思疎通をより一層強化し、利用者が関心のあるイベントの実施や植栽管理業務等に関するトラブルの未然防止に取り組むことで、安定した管理運営の実施を期待する。